

目次 CONTENTS

- 2 よさの人 (No.58)
地域おこし協力隊 長谷川 夕起さん
まちの話題お届けします
- 6 【連載3】コミュニティ・スクール
- 8 がんばってます！ 消防団 / 図書館へ行こう！
- 10 健やか広場 (フレイル予防)
- 12 まなびだより (公民館活動報告)
- 16 令和5年度役場組織・業務案内
- 18 町政 News&Information
 - ・野田川森林公園と野田川ユースセンターの運営方法を変更します
 - ・リフレかやの里の一時休館のお知らせ
 - ・複業人材を活用した実証実験報告会
 - ・FM 告知端末機設置していますか？ など
- 26 お知らせページ

今月の表紙 COVER PHOTO

石川保育所で行われた豆まきの一コマ。恐る恐るホールに向かうと、突然、鬼が登場！ 驚いて泣き出した逃げまわる園児、中には果敢に豆を投げる園児の姿も。未満児組の園児たちは、鬼の置物に向かってお手製の豆を投げて、鬼を退治していました。



よさの人 Vol.58

— 地域おこし協力隊 —

高校魅力化コーディネーター

長谷川 夕起さん

3月末に4年間の任期を終え退任される長谷川さん。京都府公立高校初の「高校魅力化コーディネーター」(以下、「コーディネーター」)として駆け抜けた4年間。加悦谷高校と宮津天橋高校加悦谷学舎(以下、「加悦谷学舎」)で活動した日々について伺いました。

「高校魅力化コーディネーター」に挑戦しようと思った経緯などを教えてください。

もともと「教育に携わりたい」と思っていました。大学院卒業後、民間企業に就職しましたが、もっと多くの人たちに関わっていきたくて、個人事業を立ち上げました。でも鳴かず飛ばずで…。個人事業を始めて3年目。「本当にやりたいことって何だっけ」と自分に問いかけ、「教員免許を持っていないけど、どうやったら学校や子どもにも携われるの

か」を考え始めていたところに、与謝野町がコーディネーターを募集していることを聞き、何をするかもわからないまま面接を受けたのがきっかけでした。「魅力化」という文脈も初めてで、最初は生徒の前で授業したり、語りたいたって思っていました。

— コーディネーターとして実施してきたことを教えてください。

高校魅力化のミッション「地域の子どもたちが通いたいと思える高校にする」という背景は理解していましたが、具体的に学校としてどこを目指したいのかわからず、校長先生に聞きに行ったこともありました。その中で、一年目から総合的な探究の時間(以下、「探究」)のカリキュラム作りに関わらせてもらいました。何より、与謝野町をフィールドに、地域資源を生かした教育環境を加悦谷学舎の先生と一緒に作れたことが大きかったです。

「言語化」することが大切

探究のカリキュラム作りもですが、生徒と何かを作り上げることや生徒たちが動いていることが印象に残っています。「町長対話授業



総合的な探究の時間のカリキュラム作りに向けて打ち合わせ



はせがわ ゆうき / 兵庫県出身

平成31年4月、地域おこし協力隊制度を活用し京都府公立高校初の「高校魅力化コーディネーター」として、府立加悦谷高等学校(現宮津天橋高等学校加悦谷学舎)に着任。地域に開かれた学校を目指し、総合的な探究の時間のカリキュラム構築やStudy@Workの実施、高校生視点での町の魅力を発信する「よさの高校生広報室@miraい」の立ち上げなどに取り組み、3月末に任期を迎え4年間の活動を終えられます。

「高校魅力化」って何？

高校魅力化は、社会に開かれた学校を推進し、生徒と地域住民との共学によって「地域を元気にするために都会の大学で学んで戻ってきたい」と考える若者と、「若者がここに帰ってきたいと思える町をつくりたい」という地域住民の相乗効果により、魅力ある学校と魅力ある地域を共創していくことを目的としています。

本町と宮津天橋高校加悦谷学舎では、両者にとってより良い協働、より良い方向性、あるべき関係性を明らかにするため令和4年3月に「与謝野町高校魅力化ビジョン」を策定しました。

与謝野町高校魅力化
ビジョンはこちら

